

事務事業名		27820 観光資源創出プロモーション事業	予算科目	会計 一般	款 7	項 1	目 3	所管課	商工観光課	担当班	観光班
施策体系	基本施策	3 観光の振興	根拠法令								
	施策の展開	7 観光情報発信の推進	戦略事業	34 観光資源創出プロモーション事業							
	施策の展開		戦略事業								
<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業（重点施策）重1 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業											

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 26 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	市の豊富な観光資源の魅力を全国へ向けてPRするとともに、新たな観光資源の創出と旅行者および地元の農水・商・工業者等、関係団体との連携による着地型(体験型)観光の提案・実施により、多くの観光客の誘致を実現し、観光産業の振興と地域経済の活性化を図る。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
既存の事業では、対応できなかった市の観光資源を活かした事業の開発やPRを行う必要があると判断したため平成26年に事業を開始した。	市が企画しても、実際に事業を行う業者が消極的であったり、観光客を受け入れる体制が不十分であったりと、事業化し、民間主導にするまでには、まだ投資や準備が必要と思われる。	東総有料道路往復通行券を利用した観光キャンペーンは、市内観光業に従事している方々と連携し、市と業者、双方の積極的なPRになると評判が良い。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算) 単位:千円								
1.消耗品	1,008	通行券購入費含む	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
2.印刷製本	79	キャンペーンチラシ印刷	千円	-	-	1,997	1,008	1,850
3.広告料	0		千円	-	-	493	79	1,719
4.旅費	12		千円	-	-	1,091	0	2,965
5.その他	28	通行料及び駐車料	千円	-	-	101	12	52
			千円	-	-	2,291	28	274
② 特定財源の内訳(27年度の決算) 単位:千円			事業費計(A) 千円 0 0 5,973 1,127 6,860					
1.国庫支出金	0		千円	0	0	5,973	1,127	6,860
2.都道府県支出金	1,008	有料道路利用観光振興事業費補助金	千円			0	0	0
3.地方債	0		千円			1,008	1,008	1,008
4.その他	119	災害復興基金繰入金	千円			0	0	0
			千円			4,965	119	5,852
			千円	0	0	0	0	0

前年度増減理由	H27は事業内容の多くを観光振興事業(繰越明許)で行ったため大幅な減額となった。
---------	--

従事職員数	常時 2人	最大 5人	× 10日 = 延べ 50人
-------	-------	-------	----------------

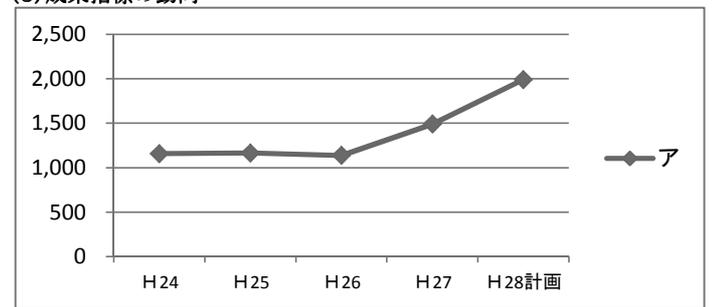
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動)								
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	対象意図								
	旭市を訪れる観光客		ア 往復通行券配布枚数(2枚1組)	組	0	0	3,000	3,000	3,000
	PRやキャンペーンの効果で増加する		イ 参加した観光PRイベント数	件	0	0	12	7	10

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地		コスト比率		
	大きい	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	普通		(1)		
小さい					

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難									
【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)										
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
【コメント】 (低下の場合、その理由)				<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	成果動向	24年度	25年度	26年度	27年度	28計画
					ア		8	△ 27	352	501
					イ					
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組み事項について記載)	時期	内容		今後の方向性						
通年		新たな観光客を獲得できるPR方法の検討や、イベントの見直しを行う。		通年	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> その他 ()	往復通行券の配布を伴うキャンペーンは県の補助が終了したため見直しを行う。今後、東総有料道路が完全無料化するので、さらに集客が図れるよう事業の見直しを適宜行う。		